

たすねてみたら

No.86

地域を明るくする

大古山区長
横倉一男さん



「大古山の景観がまるで変わりましたね。」
昨年秋から住民ボランティアで、環境整備事業に取り組みまして、住宅地をうっそうと覆う竹や杉などの木々をすべて伐採しています。3月で着工半年目になります。これまで14カ所、3.5ヘクタール、5千本を切り倒しました。
大古山って、昔のグループプサウンズじゃないけど、森と泉(川と池)に囲まれたブルー地帯だったんです(笑)。竹が何本も川面に倒れたわびしい姿、新しく出来た団地も密林に隠れ、崖の上の家々も竹やぶで見えない、そんな隠れ宿ならぬ隠れ集落だったんです。
—そんな環境を変えようと立ち上

がったエネルギーがすごいですね。
誰もが美しい景観の中で暮らしたいと思うじゃないですか。愛する郷土とか誇れる郷土とか、みんな口にするけど、実際のところ田舎の集落はどこもあまりきれいでない。けれども、大木や密林を切り開くのは容易じゃないから諦めてしまっている。大古山は酷い環境ブスだったから区費100万円をかけて整形手術を試みました。
おかげでこの春の日、区内53戸すべての庭先に午前7時前に朝日が差し込んでいます。人間の元気は日照時間にも関係するといわれますから、住民間に村おこしの気運が高まればと期待しています。

旧堀田邸と順天堂記念館を訪ねて 自然観察会

支部事業で一番人気の「自然観察会」は、十一月十二日行われた。
参加者は四十四人。千葉県佐倉市にある「旧堀田邸」と「順天堂記念館」をガイドさん付で観察した。
旧堀田邸は、最後の佐倉藩主堀田正倫の邸宅で一八九〇年に竣工。
正倫は農業と教育に尽くそうと佐倉に邸宅を構え、農事試験場を作った。後に県を代表する農業研究機関となる。
往時は三万坪の広さがあったが、現在は一万坪程の広さに、建物と庭園が残されている。

「順天堂」は、佐倉藩主堀田正睦が一八四三年江戸の蘭方医佐藤泰然を招いて開業した塾と外科の診療所。医者として有能な人物が育った。また優秀な弟子を養子として選ぶなどが順天堂の発展する要因となった。
当時(一八五四年)麻酔薬はあったが、その安全性に疑問をもち順天堂では、あえて無麻酔で手術を行っていた。
無麻酔手術の話には、皆さん首をすくめて聞いていた。
参加者の皆さんは、広く美しい庭園と建物内のめずらしい造りに目を見張った。
「順天堂」は、佐倉藩主堀田正睦が一八四三年江戸の蘭方医佐藤泰然を招いて開業した塾と外科の診療所。医者として有能な人物が育った。また優秀な弟子を養子として選ぶなどが順天堂の発展する要因となった。
当時(一八五四年)麻酔薬はあったが、その安全性に疑問をもち順天堂では、あえて無麻酔で手術を行っていた。
無麻酔手術の話には、皆さん首をすくめて聞いていた。



▲旧堀田邸の部屋の造りを聞く

お正月お弁当六十一人が希望

「楽しみにしています」に元気をもらっごぶしの会

新年おたのしみ配食は、一月十五日に行われた。
担当の六班(松山団地・八反山)の皆さんと役員含めた十六人が前日から二日かかりで、料理に腕をふるった。
毎年、まちづくり宍戸塾ほたるの里委員会作の北山産古代米が使われていたが、今年度は不作であったため、市販のもち米の使用となった。お赤飯を初め海老フライ、旬の野菜の炊き合わせ等、十一年の色どりもよい健康的なお正月料理が完成した。
配食を希望した六十一人のお年寄りには、紅白のおまんじゅうと手作り会が作ったひざ掛けと心のこもったお正月お弁当が、ごぶしの会の皆さんから手渡された。
大古山の藤沢真一さんは「毎回絵手紙もお弁当も楽しみにしていますね。」



▲完成の豪華なおせち弁当



▲盛り付けに大忙し



▲「ありがとうございます」

第26回 GROUND GOLF



▲個人の部 1位 高橋敏記さん
2位 谷 貞夫さん 3位 永山 進さん

新記録続出

第二十六回宍戸地区高齢者グランドゴルフ大会が、十月二十九日北山グラウンドで開催された。
この日を楽しみにして、日頃から練習を重ねてきた参加選手の中には二十八チーム九十一人。
晴天となった北山グラウンドでその成果を見せてくれた。
成績は、ホールインワンが四十六人。一人で二回のホールインワンを決め、八ホールを十二のスコアでまわった松山団地の

表彰者(敬称略)

☆団体の部		
1位	旧陣屋末広B	114点
2位	橋爪いきいきクラブA	117点
3位	松山団地松寿会A	119点
☆個人の部		
1位	高橋 敏記 松山団地2	29点
2位	谷 貞夫 松山団地2	35点
3位	永山 進 旧陣屋3区	35点
※2・3位はプレーオフによる		

高橋敏記さん等、始まって以来の記録がたくさん出た。
二番ホール(50m)でホールインワンを決めた小坂井芳威さんは「今日で二回目ですが、まぐれですよ」と控え目に話した。
高齢者とは思えないすばらしいプレーの数々に歓声の絶えない北山グラウンドの一日であった。

ます。」と絵手紙を貼りつけた大きな紙を広げて見せてくれた。
ひばりヶ丘の三井弘さんは、「いつも大変お世話になっております。ありがとうございます。」と笑顔で話された。
高橋敏記さん等、始まって以来の記録がたくさん出た。
二番ホール(50m)でホールインワンを決めた小坂井芳威さんは「今日で二回目ですが、まぐれですよ」と控え目に話した。
高齢者とは思えないすばらしいプレーの数々に歓声の絶えない北山グラウンドの一日であった。

盛りだくさんの 出し物に満足

南小泉でサロン

春を感じさせる暖かな日となった二月十六日南小泉集落センターで「ししどサロン」が開催された。

高齢者を大事にするこの地区は関係者らの熱心な声かけで二十六人が参加し楽しい一日を過ごした。

昭和のなつかしい歌を「ハーモニイせせらぎ」さんのハーモニイに合せて大きな声で歌った。

空箱から次々と出てくる花にびつくり。「友部マジック遊友」さんの鮮やかな手さばきと面白い語りに皆さん大喜び。

バルーンアートは初めての方も多く、小菅さんにコツを教わりながらウサギやイヌ等を完成させた。

午後は矢口圭二先生が、南小泉にあった「天明の飢饉」(一七八

三年)について話された。

天明六年七月、雨は降り続き、野田の沢池(溜井)の堤防が決壊し、住民は生活のすべをなくす。

地域住民は協力し自分たちで堤防の修復にあたったとのこと。

往時の人の大変な苦労の上に今の南小泉があることを知った。

外れないビンゴゲームは大いに盛り上がった。

最後に曾澤和美高齢者クラブ会長から

高齢者の交通事故死亡事故多発と二七電話詐欺で被害があったことが話

され、高齢者にチラシを配布し注意を促した。



▲バルーンアートでイヌをつくる

生活の必需品「洗剤」と料理のきめて「酒」を学ぶ

接岸した船から直接パイプで原材料が工場へ送られる。工場が縦横無尽に大小



▲酒のできるまでを聞く

十月二十三日女性部視察研修があった。参加者三十七人は、神栖市にある「花王」の鹿島工場や愛友酒造等を訪ね見聞を広めた。

花王工場では、家庭用製品中間原料(台所用液体洗剤等)や工業用製品(トナー・コンクリート用減水剤等)を生産している。

港に隣接する「花王」は、接岸した船から直接パイプで原材料が工場へ送られる。工場が縦横無尽に大小

愛友酒造では、料理に欠かせない日本酒の出来るまでを勉強した。

たる酒の試飲もあり、その香りにさそわれて、多くの皆さんが買い求めていた。

三世代 ふれあいの集い



上町 横手和昭

平成26年10月25日に宍戸小学校において、三世代ふれあいの集い

が開催されました。児童のお父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん・それに地域の

たくさんの方々にお集まりいただきました。まずは、吹奏楽部の演奏、学年ごとの歌やダンスの発表、全児童による合唱です。この日

のためにと各学年とも趣向を凝らした内容を考え、練習し本番に臨みました。この発表を見る子どもたちの一生懸命さに笑みが浮かび、時には目を潤ませてしまうこともありま

す。 つづいて、縦割り班による体験活動が行われました。この中には、「ペー」等の昔遊びから、「ベ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから

「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから

「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから

「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから

「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから

「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから

「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから

「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから

まちの声・むらの声

つづいて、縦割り班による体験活動が行われました。この中には、「ペー」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから、「モ」等の昔遊びから



▲初めて杵をもった

宍戸小での思い出



旧陣屋3区 福島史華

私の六年間で一番の思い出は、友達と過ごした毎日です。その中でも、六年生としての一年間が最も大切にしたい思い出です。

六年生全員で決めた「何事にも一生懸命に取り組み」という目標に向かって活動していたこの一

高齢者向けの食事を研修

女性部

「高齢者向けの食事学」が二月四日福祉会館で行われ、女性部二十人が参加した。

管理栄養士の小沢先生からは「菌」についての話があった。

手や調理器具は清潔にし、特にまな板はこまめな洗浄と使用後は熱湯をかけて殺菌することや調理

に入るときは指輪を外すことなどを学んだ。

主菜はイカフライで、イカをフードプロセッサーにかけ、食べやすくした。(これは名案だ)

副菜は生揚げと里芋の含め煮、大根と油揚げのゴマ酢和え等、高齢者にやさしい料理であった。

試食した支部長は、イカフライなのに形がない、小沢先生の工夫に大変感心させられたとのことであった。

年間。目標を達成させようとするから、時には失敗して先生に指導されたこともありました。でも、先生の指導があったから今までより学年のみんなが協力して何事にも一生懸命に取り組むことができたと思っています。

陸上競技会では、一人一人の参加する競技の練習をたくさんしたり、三世代で発表したダンスの練習を時間があればみんなで確認したり一つ一つのことを達成するためにたくさん努力してきました。

楽しく笑い合った日も多く泣いた日もたくさんあったと振り返った毎日、一生忘れられない思い出です。友達同士で支え合ってた皆さんの山を乗り越えてきたことも忘れられません。六年生の仲間、それを見守ってくださった先生方に感謝しています。(小六)

みんなでゴミを考えよう クリーン作戦に参加 11月30日



▲お父さんお母さんからルールやマナーを教わる



ありがとうございました
11月30日、旧陣屋レクリエーションクラブによる「チャリティーそば会」が行われた。子どもから高齢者まで、地域を問わず参加出来る人気の行事。
新築のコミュニティセンターで、うちたてのおそばをいただくとうと、会場は終始賑わっていた。会からは、1万円のご寄付があった。